

| 用語解説（あ～） |                 |  |
|----------|-----------------|--|
| あ        | アセットマネジメント      | 本市が所有又は使用する公共施設資産（アセット）に対して最も費用対効果が高く効率的で適切な管理（マネジメント）を推進すること。   |
| い        | 一時保育            | 保護者が疾病、入院、その他家庭等の状況により、緊急又は一時的に保育できなくなった場合に、保育所で一時的に預かること。   |
|          | 一般診療所           | 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみは除く）であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの。  |
| う        | 雨水幹線            | 市街地の雨水を取り込み、一定規模以上の排水能力を有する開渠や管渠のこと。   |
|          | 雨水貯留施設          | 簡単な貯留施設を設置して降った雨を蓄える施設のこと。雨水貯留を行うことにより、浸水被害の緩和が期待される。  |
| お        | オープンデータ         | 国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、公開されたデータのこと。  |
|          | 温室効果ガス          | 太陽放射により暖められた熱が宇宙に放出されるとき、その一部を吸収して温室のように地球を暖める性質をもつ気体のこと。主に、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素等をいう。  |
| か        | カーボンニュートラル      | CO2（二酸化炭素）等の温室効果ガスの人為的な排出量と森林等によるCO2の吸収量が均衡している状態のこと。  |
|          | 外国人市民           | 国籍に関わらず、言語的・文化的ルーツを外国に持つ市民のこと。   |
|          | かかりつけ医          | 日頃の診察や健康相談・指導等、総合的に健康管理をしてくれる医師のこと。必要に応じて専門医療機関との連携を行う。  |
|          | 核家族化            | 核家族世帯（夫婦のみ世帯、夫婦と子世帯、ひとり親と子世帯）が増加傾向にあること。   |
|          | 学童保育所（放課後児童クラブ） | 児童の保護者が就労等により昼間家庭にいない場合に、放課後や夏休み等の学校休業日に家庭に代わる生活の場として適切な遊びや指導を行い、その児童の健全な育成を図ることを目的とする施設のこと。                                       |
|          | 学校応援団           | 学校における学習活動、安全・安心の確保、環境整備等について、保護者や地域住民がボランティアとして協力・支援を行う組織のこと。   |
|          | 家庭教育学級          | 小・中学校を拠点として、保護者が学習したいことを自ら企画し、計画的・継続的に行っていく活動のこと。  |
|          | 環境負荷            | 人の活動により環境に加えられる影響で、環境を保全する上で支障の原因となるおそれのあるもの。工場からの排水、排ガスはもとより、家庭からの排水、ごみの排出、自動車の排気ガス等、通常の事業活動や日常生活のあらゆる場面で環境への負荷が生じている。環境への負荷ともいう。 |
| き        | 基幹管路            | 水源井から地下水を浄水場まで送る管（導水管）と、浄配水場から水道水を利用者へ送る管（配水管）のうち口径が300mm以上のもの。  |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 規範意識               | 道徳、倫理、法律等の社会のルールを守ろうとする意識のこと。   |
| キャッシュレス            | 紙幣や硬貨といった現金(=キャッシュ)を使わずに、お店での買い物やお金のやり取りができること。   |
| キャリア教育             | 望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する力・態度を育てる教育のこと。  |
| 行政評価               | 必要性・有効性・効率性といった視点で、施策や事務事業の成果を客観的に評価し、次の計画や事業の選択、改革・改善に反映させる行政サービスの継続的な向上を図る仕組みのこと。   |
| 協働                 | 市民、市議会、行政が八潮市をより良くするために、それぞれの役割と責務に基づいてお互いの立場を尊重し、共通の目的の達成に向けて対等な立場で協力し合ってまちづくりを進めること。  |
| 橋りょう               | 橋のこと。   |
| 居宅サービス             | 介護保険制度に基づく介護保険サービスのひとつで、訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、福祉用具貸与及び特定福祉用具販売等、自宅で受けるサービスのこと。 |
| こ                  |   |
| 公営企業               | 上水道事業・下水道事業等、地方公共団体が経営する企業のこと。  |
| 後期高齢者医療制度          | 平成20年4月から施行された新たな高齢者医療制度のこと。対象は原則として75歳以上であり、県内全ての市町村が加入する広域連合により運営される。   |
| 公共施設マネジメント基本計画     | 公共施設とインフラ資産の更新、統廃合、長寿命化等の具体的な取組の方針を示したもの。   |
| 公共施設マネジメントアクションプラン | 公共施設マネジメント基本計画を実現するための具体的な行動計画のこと。  |
| 国土強靱化              | どのような自然災害が発生しても、被害を最小限に抑え、迅速に復旧・復興できる「強さとしなやかさ」を備えた国土・経済・社会システムを平時から構築すること。   |
| 国民皆保険              | 全国民に何らかの医療保険に入るよう定めている制度のこと。  |
| 個人情報保護制度           | 市が保有する個人情報についての取扱いを定めるとともに、市民が自らの情報の開示や訂正を求めることができる制度のこと。   |
| こども家庭センター          | 全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関のこと。   |
| コミュニティ             | ある一定の地域に住む人々から成る共通の生活様式をもつ社会集団のこと。  |

|   |                |  |
|---|----------------|--|
|   | コミュニティバス       | 一般的に、交通事業者以外の市町村や自治会などが主体となり、地域住民の利便性向上などのため一定地域内を運行するバスで、車両使用、運賃、ダイヤ、バス停位置などを工夫したバスのこと。   |
| さ | 再生可能エネルギー      | 太陽光、水力、風力、バイオマス、地熱等、永続的に利用することができるエネルギーのこと。  |
|   | 埼玉県東南部都市連絡調整会議 | 八潮市・草加市・越谷市・三郷市・吉川市・松伏町の5市1町で構成されている任意協議会のこと。  |
|   | 産業構造           | 市町村等一定の地域内に存在する産業部門の構成割合のこと。   |
| し | 自主財源           | 市自ら確保できる市税等の収入のこと。自主財源が多いほど、行政活動の自主性と安定性が確保できるとされている。  |
|   | 施設サービス         | 介護保険制度に基づく、介護保険サービスのひとつで、介護老人福祉施設及び介護老人保健施設等、施設に入所して受けるサービスのこと。  |
|   | 施設栽培           | ビニールハウス等の施設を利用し、人工的な環境下で作物を栽培する方法のこと。  |
|   | 実質公債費比率        | 地方公共団体の標準的な一般財源の財政規模に対する実質的な公債費の割合を示す比率のこと。実質公債費比率が18%以上の場合、地方債の発行に際し、総務大臣又は都道府県知事の許可が必要になる。   |
|   | 持続可能な開発のための教育  | 環境、貧困、人権、平和、開発といった現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動のこと。  |
|   | 指定管理者制度        | 地方公共団体が所管する公の施設について、管理、運営を民間企業を含む法人やその他の団体に委託することができる制度のこと。公の施設の管理、運営に民間のノウハウ等を活用することで、多様化・複雑化する市民ニーズに効率的・効果的に対応することを目指す。  |
|   | 児童委員           | 地域の子どもが元気に安心して暮らせるように、子どもを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごと等の相談・支援等を行う人々のこと。「民生委員」が「児童委員」を兼ねている。   |
|   | ジェンダーギャップ指数    | 国ごとの男女格差（ジェンダーギャップ）を測る指数のことで、GGIと略される。世界の企業や団体が加盟する独立・非営利団体、世界経済フォーラム（World Economic Forum）が毎年発表しているもので、0から1の数値で表され、0が完全不平等、1が完全平等を意味している。2024年6月に公表された日本の順位は、0.663で118位である。 |
|   | 循環型社会          | 地球環境を保全しつつ、限りある天然資源を大切に、持続的な発展を遂げていくために、資源・エネルギーの大量消費や廃棄物の発生を抑制するとともに、リサイクル等の有効利用を進めて環境への負荷をできる限り低減しようとする社会のこと。  |
|   | しゅんせつ          | 河川等の底面をさらって土砂等を取り除くこと。   |

|   |              |   |
|---|--------------|---|
|   | 省エネルギー       | 石油、電力、ガス等のエネルギーを効率的に使用し、その消費量を節約すること。   |
|   | 小中一貫教育       | 小・中学校が、目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育のこと。   |
|   | 情報公開制度       | 市民等の請求に応じて市が保有する行政文書の閲覧、写しの交付等を行う制度のこと。   |
|   | 将来負担比率       | 地方公共団体の借入金（地方債）等、現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の標準的な一般財源の財政規模に対する割合で表したもの。   |
|   | 初期救急医療       | 入院を必要としない軽症の救急患者に対応する医療のこと。   |
|   | 食育           | 様々な経験を通して、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができるよう教育すること。  |
|   | 新型インフルエンザ等   | 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律で定義されている新型インフルエンザ等感染症（新型インフルエンザ及び再興型インフルエンザの総称）とともに、全国かつ急速なまん延のおそれのある新感染症（未知の感染症）を含む疾病のこと。                  |
| す | 水源井          | 地下水を汲み上げるための深い井戸のこと。  |
|   | スケールメリット     | 規模を大きくすることにより得られる効果のこと。   |
|   | スマートインターチェンジ | E T Cを搭載した車両に限定して、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジのこと。   |
| せ | 生活習慣病        | 食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣がその発症・進行に深く関与する病気の総称。糖尿病、高血圧症、脂質異常症、肥満、心臓病、脳卒中等がある。  |
|   | ゼロカーボンシティ    | 2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指し、市民や事業者などと協働して取り組むことを表明した自治体のこと。   |
| た | ターミナルケア      | 終末期に行う医療・看護的、介護ケアのこと。治療を目的とせず、身体的・精神的苦痛を除去し、生活の質の維持・向上を目的とした処置のこと。  |
|   | 第二次救急医療      | 入院治療を必要とする重症救急患者に対応する医療のこと。   |
|   | ダイバーシティ社会    | 年齢や性別、障がいの有無、国籍、文化的背景、性的指向・性自認などといったさまざまな属性に配慮しながら、違いを受け入れ、わかり合って、互いに活かし合うことができる「多様性」のある社会のこと。八潮市では、令和5年3月に「八潮市ダイバーシティ社会推進方針」を策定している。 |
|   | 多文化共生        | 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。  |
|   | 団塊ジュニア世代     | 1971（昭和46）～1974（昭和49）年頃の第2次ベビーブーム時代に生まれた世代のこと。  |

|   |                       |   |
|---|-----------------------|---|
|   | 男女共同参画社会              | 男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のこと。  |
|   | 弾道ミサイル                | 空中に弧を描いて飛ぶ対地ミサイルのこと。  |
| ち | 地域核                   | 八潮市の各地域の中心となる箇所のこと。なお、八潮市の全体の中心となる箇所は都市核と呼ぶ。  |
|   | 地域密着型サービス             | 介護保険制度に基づく、介護保険サービスのひとつで、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護等、住み慣れた地域での生活を支えるためのサービスのこと。原則として、自市のサービスのみを利用することができ、市町村が指定・指導監督の権限をもつ。 |
|   | 地下鉄 8 号線              | 平成 12 年 1 月の運輸政策審議会答申第 18 号で示された東京メトロ有楽町線の延伸（亀有～野田市）路線のこと。「東京 8 号線」「高速鉄道東京 8 号線」ともいう。   |
|   | 地球温暖化                 | 人の活動によって発生する二酸化炭素、フロン、メタン等の温室効果ガスが、地球から宇宙に放出される熱を吸収し、地球の温度が上昇する現象のこと。   |
|   | 地球環境問題                | 人類の将来にとっての大きな脅威となってきた地球規模における環境問題のこと。   |
|   | 地産地消                  | 地域で生産されたものをその地域で消費すること。   |
|   | 直結給水                  | 貯水槽を使わず、配水管から蛇口まで直接パイプで結び、途中で空気に触れることなく水を給水すること。  |
| て | デジタルトランスフォーメーション (DX) | デジタル化（デジタル技術を活用したサービス導入）にとどまらず、業務や組織の改善を行い人々の生活をより良いものへと変革する取組のこと。  |
|   | テロ                    | テロリズムの略で、一定の政治目的のために、暗殺や暴行、粛清等の直接的な恐怖手段に訴える主義、又はその行為のこと。  |
| と | 同和教育                  | 社会の中に根強く残っている不合理な部落差別をなくし、人権尊重の精神を貫くための教育のこと。   |
|   | 特定健康診査                | 内臓脂肪型肥満を減らすことを目的とした健診のこと。平成 20 年度より実施することが医療保険者に義務付けられた。  |
|   | 特定保健指導                | 特定健康診査で内臓脂肪型肥満、もしくはその予備軍と診断された人に対して実施される保健指導のこと。  |
|   | 都市核                   | 八潮市の全体の中心となる箇所のこと。なお、各地域の中心となる箇所は地域核と呼ぶ。  |
|   | 都市型農業                 | 大消費地に近い農業地域、都市の生産緑地、市民農園等において営まれる農業のこと。食料・農業・農村基本法では、都市及びその周辺における農業を「都市農業」と規定しているが、本市では、大消費地に近い農業地  |

|   |                    |  |
|---|--------------------|--|
|   |                    | 域、都市の生産緑地、市民農園等において営まれる農業を包括する概念として、「都市型農業」という言葉を用いている。  |
|   | 都市計画マスタープラン        | 都市計画法に規定された「市町村の都市計画に関する基本的な方針」（法第18条の2）のこと。市町村議会の議決を経て定められた市町村の基本構想及び「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即して、市町村が定める。 |
|   | 都市公園               | 都市公園法の規定により国又は地方公共団体が設置し、管理する公園又は緑地のこと。  |
|   | 土地区画整理事業           | 都市計画区域内において宅地利用の増進を図るために行う土地の整形化や道路、公園等の公共施設の整備等を行う事業のこと。  |
|   | ドメスティック・バイオレンス（DV） | 配偶者やパートナーからの身体的、精神的、経済的、性的暴力のこと。   |
| な | 内水排除               | 河川に流れず溜まってしまった雨水（内水）を、排水管の設備やポンプ等で排除すること。  |
| に | 認定こども園             | 教育・保育を一体的に行う施設のこと。幼稚園と保育所の両方の良さを併せもっている。   |
|   | 認定農業者              | 市が定めた農業経営の改善に関する目標に到達する見込みが確実であり、市の農業を支える重要な役割を果たすとともに、自らの経営改善に積極的かつ意欲的に取り組む農業者として、市から認定を受けた農業者のこと。      |
| の | 農商工連携              | 農林水産業と商工業の事業者が連携し、それぞれの資源を活かして事業を行うこと。   |
| は | 8050問題             | 80代の親と50代のひきこもり状態にある子が世帯単位で社会的に孤立し、経済的にも困難な状況に陥ってしまうこと。  |
|   | バリアフリー             | 高齢者や障がいのある人等の社会的弱者が障壁なく設備やシステムを利用できる状態のこと。   |
| へ | ヘイトスピーチ            | 特定の民族や国籍の人々を排斥し、不安や差別意識を煽る差別的言動のこと。本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律（ヘイトスピーチ解消法）が2016（平成28）年に施行されている。 |
| ほ | ポテンシャル             | 潜在能力のこと。   |
| み | 見守り活動              | 通学路において、児童や歩行者の交通安全を見守るために、交通整理や交通安全の指導を行うこと。  |
|   | 民生委員               | 厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める人々のこと。「児童委員」を兼ねている。                        |
| や | 八潮いこい体操            | 地域の公民館等で行う八潮市独自の健康づくり体操のこと。地域の仲間が集まれば、担当の保健師が訪問し実施している。  |

|               |                |   |
|---------------|----------------|---|
|               | 八潮市ジュニアリーダー会   | 中学1年生から高校3年生までで構成され、地域において各種ボランティア活動を行う団体のこと。   |
|               | ヤングケアラー        | 本来、大人がすると想定されているような家事や家族の世話などのケアを日常的に行っている18歳未満の若者のこと。  |
| ゆ             | 有機質肥料          | 生ごみや稲わら等の有機物を微生物の力で分解した肥料のこと。   |
|               | 遊水機能           | 水田等が雨水や水路等からの水を引き込み、一時的に貯留する働きのこと。  |
|               | ユニバーサルデザイン     | 年齢、性別、障害の有無などにかかわらず、さまざまな人に配慮して、はじめから全ての人が利用しやすいまち、施設、物（製品）、環境、サービスなどをつくらうとする考え方のこと。  |
| ら             | ライフスタイル        | 生活の様式のこと。   |
|               | ライフステージ        | 人間の一生における幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期等のそれぞれの段階のこと。   |
| り             | リサイクル          | 資源の有効利用及び環境汚染防止のために、廃物を原料として再生し利用すること。  |
| ろ             | ローリング方式        | 計画の管理手法のひとつで、計画と実績とのかい離を調整し、計画の実効性を確保するため、毎年又は隔年ごとに計画を見直すとともに、将来に向かって一定期間の計画（この計画では3か年）を作成すること。   |
|               | 6次産業化          | 農林水産物を収穫・漁獲（第一次産業）するだけでなく、加工（第二次産業）し、流通・販売（第三次産業）まで手がけることで、農林水産業の経営体質強化を目指す経営手法のこと。   |
| わ             | ワーク・ライフ・バランス   | 仕事と生活の調和のこと。  |
| 用語解説（アルファベット） |                |   |
| A             | A I            | Artificial Intelligence（人工知能）の略で、これまで人間にしかできなかった知的な行為を、人工的に作られた知能で可能にする技術のこと。   |
| G             | G I G A スクール構想 | Global and Innovation Gateway for ALL の略称。児童生徒1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想のこと。                        |
| I             | I C T          | Information and Communication Technology の略称。情報通信技術。  |
| L             | L G B T Q      | 性的マイノリティの方を表す総称のひとつで、下記の頭文字をとったもの。<br>L：レズビアン（女性の同性愛者）<br>G：ゲイ（男性の同性愛者）<br>B：バイセクシュアル（両性愛者）<br>T：トランスジェンダー（「身体の性」と「心の性」が一致しない人）<br>Q：クエスチョニング（性のあり方を決めていない、決められない等の人） |

|   |          |  |
|---|----------|--|
| M | M a a S  | Mobility as a Service の略。個々の利用者の移動ニーズに対応して、複数の公共交通や公共交通以外の移動サービスを最適に組み合わせ、移動以外のサービスとも連携し、一括した検索・予約・決済等を提供するサービスのこと。  |
| N | N P O    | Non Profit Organization の略で、民間の非営利団体のこと。様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を配分することを目的としない団体の総称をいう。  |
|   | N P O 法人 | 特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した N P O のこと。  |
| P | P F I    | Private Finance Initiative の略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法のこと。   |
|   | P P P    | Public Private Partnership の略で官民連携を意味し、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図る手法のこと。  |
| R | R P A    | Robotic Process Automation の略で、データ入力等のパソコン操作をソフトウェア（ロボット）が行うことにより、事務処理を自動化する技術のこと。   |
| S | S D G s  | 平成 27 年 9 月に国連で採択された、持続可能な社会を実現するための、令和 12 年までに達成すべき国際目標であり、具体的には、貧困、飢餓、健康・福祉、教育、水と衛生利用、エネルギー、経済成長と雇用、気候変動、陸・海洋資源の保全等の問題解決に向けた 17 のゴール(目標)と 169 のターゲットのこと。「誰一人取り残さない」という共通理念のもと行政や企業、各団体、個人において目標達成に向けた取組が進められている。 |
|   | S N S    | ソーシャルネットワーキングサービスの略。登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。   |